平成23年3月3日

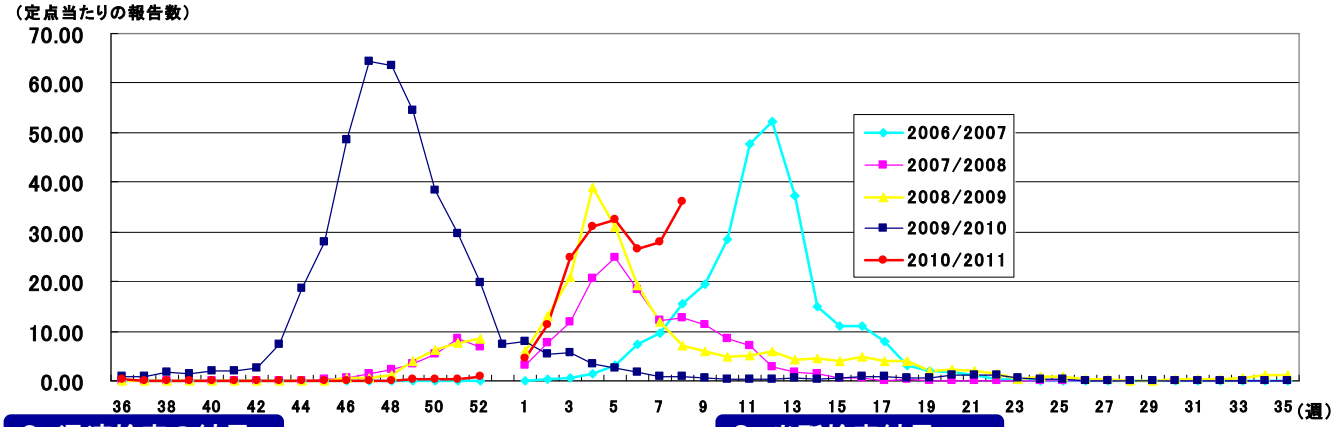
山口県感染症情報センター

インフルエンザの流行状況について

※山口県のインフルエンザの定点あたりの報告数は第 4 週に 30 以上となり、県では 2 月 4 日付けでインフルエンザ流行発生警報を発令しています。第 8 週現在も警報レベルが続いています。

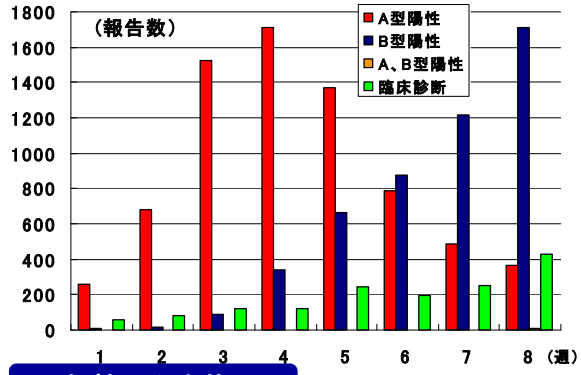
1. 流行状況

各シーズンの発生動向をグラフにしたものです。今シーズンは第 1 週頃から急増し第 6 週に減少しましたが、再び増加し、第 8 週は最多報告数となりました(第 8 週現在)。流行するウイルスの型が A 型から B 型へ移行した影響と思われます。



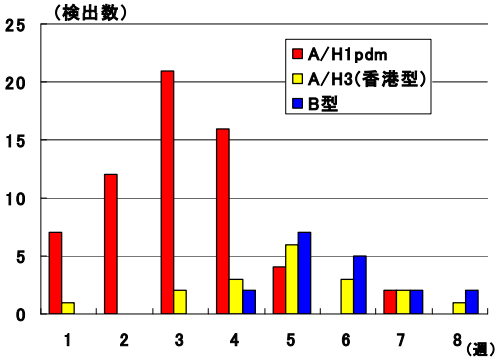
2. 迅速検査の結果

1 月は A 型陽性が多くみられましたが、徐々に B 型が増加し、第 6 週(2 月上旬)以降は B 型優勢となっています。



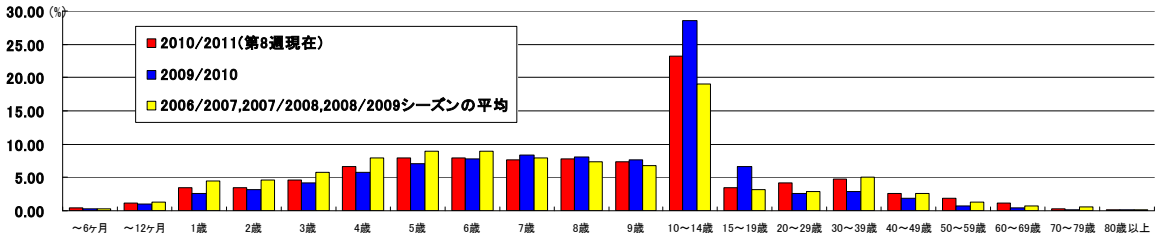
3. 当所検査結果

当所の検査結果です(平成23年2月28日現在)。1 月は A/H1pdmが多く検出されていましたが、第 4 週からは B 型も検出されています。A/H3(香港型)の検出例もみられます。



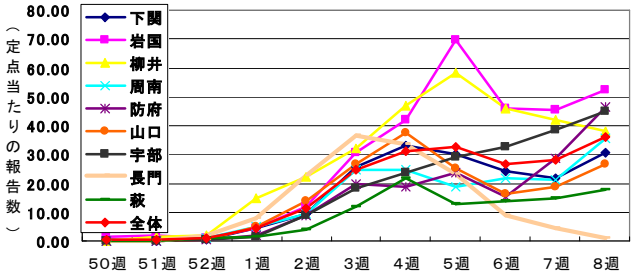
4. 年齢別発生状況

2009/2010 シーズン(青色)は過去の平均(黄色)と比較して 10～19 歳の年齢層で報告が目立ちましたが、今シーズン(赤色)も 10～14 歳ではやや多く、15～19 歳ではほぼ同程度の割合を示しています。



5. 地域別発生状況

長門:第 6 週に警報レベルの終息基準値を下回りました。
その他の地域:警報レベルまたは注意報レベルが続いていますので引き続き注意が必要です。



山口県環境保健センター
保健科学部
〒753-0821 山口市葵2丁目5-67
TEL (083)922-7630
FAX (083)922-7632